

広島市の平和記念公園の被爆アオギリの下で自らの被爆体験を語り続けた沼田鈴子さん(2011年に87歳で死去)をモデルにした映画「アオギリにたくして」(13年)の県内上映に合わせ、被爆アオギリ2世の苗を植樹する動きが広がっている。22日には県職連合(徳島市)が苗を植え、阿南市や石井町、県立吉野川高などでも来年3月までに植樹する予定だ。

被爆アオギリ 2世の苗植樹

県内で広がる
映画上映に合わせ



アオギリの苗を植樹する県職連合の職員らと四宮代表(左から2人目)ら
—徳島市万代町3の県職員会館で

24、25両日に徳島市ふれあい健康館で映画を上映する「徳島映画センター」の四宮洋右代表(72)が4月以降、

県や市町村、学校などに呼び掛けてきた。苗は広島市が1団体につき1株を無料配布している。県職連合は映画

を紹介する新聞記事で苗のことを知って植樹を計画。22日の植樹式では敷地内の花壇に高さ20センチほどの苗を丁寧

に植え、松井一實・広島市長のメッセージも付けた。森本佳広・執行委員長は「1982年に県議会が『非核の県』宣言をしている。これを機に改めて宣言を知ってもらい、平和への取り組みを展開したい」と話した。四宮代表は「被爆者が少なくなる中、沼田さんの平和への想いを後世まで語り継いでくれるアオギリが県内にも広がってほしい」と話している。**【阿部弘賢】**